

新学習指導要領に準拠した新しい鳥取県の体育に向けて

I 現行学習指導要領の成果と課題

〈成果〉

- 運動やスポーツが好きな児童生徒の割合が高まった。
- 体力の低下傾向に歯止めがかかった。
- 「する、みる、支える」のスポーツとの多様な関わりの必要性が身についた。
- 健康・安全に関する基礎的な内容が身に付いている。

〈課題〉

- △習得した知識や技能を活用して課題解決すること。
- △学習したことを相手に分かりやすく伝えること。
- △運動する子供とそうでない子供の二極化傾向がみられること。
- △体力水準が高かった昭和60年ごろと比較すると依然として低い状況がみられること。
- △健康課題を発見し、主体的に課題解決に取り組む学習が不十分であること。

文部科学省(2015), 体育・保健体育等に関する資料

II 課題を踏まえた体育科の改訂の要点

- ・「アクティブ・ラーニング」の視点から学習過程の質的改善を図る。
- ・「体育の見方・考え方」を土台とした、3つの資質・能力の育成を図る。
- ・「保健の見方・考え方」を土台とした、3つの資質・能力の育成を図る。

III 体育科の改訂の柱

1 「アクティブ・ラーニング」の視点からの学習過程の質的改善

「主体的・対話的な学び」から、「主体的・対話的で深い学び」へ

2 「体育の見方・考え方」を土台とした3つの資質・能力を育成

「技能」, 「知識, 思考・判断」, 「態度」から,
「知識及び技能」, 「思考, 判断, 表現等」, 「学びに向かう力, 人間性等」

3 「保健の見方・考え方」を土台とした、3つの資質・能力を育成

3つの資質・能力をバランスよく育む学習過程の工夫

IV 具体的な改訂事項

1 「アクティブ・ラーニング」の視点からの学習過程の質的改善

平成28年8月26日に、中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会において「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」が取りまとめられた。その中で、「これまでも心と体を一体としてとらえ、自己の運動や健康についての課題の解決に向け、積極的・自主的・主体的に学習することや、仲間と対話し協力して課題を解決する学習等を重視してきた」との報告や、「習得した知識や技能を活用して課題を解決することに課題がある」との指摘がある¹⁾。これらのことから、体育科において、「主体的な学び」や「対話的な学び」については指導法の工夫改善がなされ、一定の成果がみられるが、「深い学び」において、習得した知識を活用することや新たな課題を見つけ探究することに課題があったと考えられる。したがって、知識を活用して活動し、その活動を通して新たな課題を探究する「深い学び」を実現させていく必要がある。

どのように「深い学び」を実現するのか

2 「体育の見方・考え方」を土台とした3つの資質・能力を育成

2-1 「体育の見方・考え方」について

「体育の見方・考え方」について、「運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様ななかかわり方と関連付けること。」と整理されている²⁾。この「体育の見方・考え方」を踏まえて、3つの資質・能力の育成を検討していく必要がある。

2-2 「知識及び技能」について

現行学習指導要領と新学習指導要領を比較して、「知識」の位置づけが異なっている。「知識、思考・判断」であったのが³⁾、「知識及び技能」となった。これまでも、「知識」（わかる）と「技能」（できる）をどのように捉え、どうつなげていくか授業研究がなされてきたが^{4,5,6)}、その関係性を明確にして学習過程を検討していかなければならない。また、体育の見方・考え方の観点から、「技能の指導に偏ることなく、『する、みる、支える』に『知る』を加え、3つの資質・能力をバランスよく育む」ことが示されている。したがって、「知識」の深まりと「技能」の高まりを模索していく必要がある。

「わかる」と「できる」をどうつなげるか

2-3 「思考力、判断力、表現力等」について

学習したことを相手に分かりやすく伝えることに課題がある児童の実態をうけ、「思考力・判断力」に「表現力」が加わった。平成29年2月14日に出された小学校学習指導要領の体育科の目標では、「運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。」と示されている²⁾。「対話的な学び」の視点もふまえ、他者に言葉や文字及び動作等で伝えたり提案したりすることを通して、表現力を高めていく必要がある。

他者に伝える力をどう育むか

2-4 「学びに向かう力、人間性等」について

これまでの学習指導要領において「態度」であったのが、主体的に学習に取り組む態度等の「学びに向かう力、人間性等」となった。その態度について、現行学習指導要領では「協力、公正の態度、健康・安全に関連した態度や積極的に運動に取り組むなどの態度」と示されているのに対し³⁾、新学習指導要領では「主体的に運動に取り組もうとするとともに、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全に関する態度」と示されている²⁾。公正、協力、責任、参画、健康・安全の内容に、新しく「共生」が加わっている。したがって、豊かなかかわりのある体育学習の中で、友達の考えや取組を認める「共生」を含め、運動やスポーツの継続につながる態度をどのように育むかを検討していく必要がある。

「共生」を含め、運動やスポーツの継続につながる態度をどう育むか

また、新学習指導要領解説体育編には、運動の二極化傾向の改善に向けて、知識及び技能に「◎運動（遊び）が苦手な児童への配慮の例」、学びに向かう力、人間性等に「◎運動（遊び）に意欲的でない児童への配慮の例」が示された⁷⁾。ここで示されている配慮の例は参考例であり、苦手な児童や意欲的でない児童に対して、必ず行わなければならないわけではない。しかし、これまで以上に苦手な児童や意欲的でない児童への配慮を意図的、計画的に行っていく必要がある。その際、児童の実態をもとにして、この配慮の例を参考にしながら、個々や集団に適した手立てを講じる必要がある。

運動が苦手な児童や意欲的でない児童へ、どのような配慮を行うか

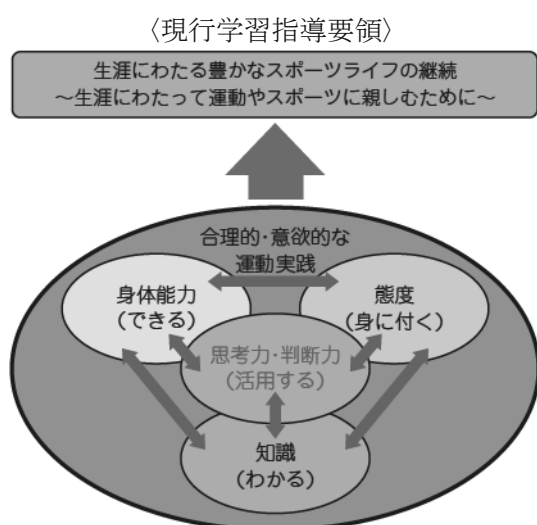


図1 「身体能力」、「態度」、「知識、思考・判断」の関係図
文部科学省 (2011)、小学校体育 (運動領域) まるわかりハンドブック

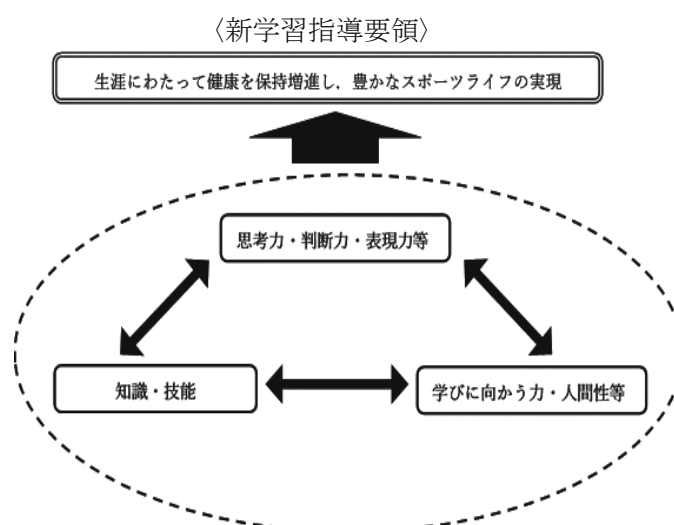


図2 「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、
「学びに向かう力、人間性等」の関係図

3 「保健の見方・考え方」を土台とした、3つの資質・能力を育成

3-1 「保健の見方・考え方」について

「保健の見方・考え方」について、「個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること。」と整理されている²⁾。この「保健の見方・考え方」を踏まえて、健康に関わって適切に判断し、行動していくための基礎基本を育成していく必要がある。

3-2 保健における3つの資質・能力の育成について

これまでの保健領域のねらいは、「理解できるようにする」といった知識の習得が中心であったが³⁾、これからは知識の指導に偏ることなく、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」の3つの資質・能力をバランスよく育むことが重要となってくる。また、この観点から、内容等の改善が図られている。したがって、児童に3つの資質・能力をバランスよく育むとともに、保健学習で習得した知識をどのように技能と結びつけるか、検討していく必要がある。

保健学習において、3つの資質・能力をどのように育むか

V 中・四国大会に向けての研究推進計画

年度	大会に向けて	会場校	学習指導要領改訂
平成29年度(今年度)	学習指導要領改訂の要点をもとにした研究の方向性の検討, 郡市の決定		周知・徹底
平成30年度	鳥取県の児童の実態を踏まえた鳥取県独自の研究の方向性の検討		先行実施
平成31年度	大会主題の検討		
平成32年度 (東京オリンピック)	会場校決定, 大会主題決定		全面实施
平成33年度		研究1年目	
平成34年度	プレ大会	研究2年目	
平成35年度	鳥取県大会	研究3年目	

VI 新しい鳥取県の体育に向けて

新学習指導要領の趣旨を踏まえ、鳥取県の児童の実態をもとにして、新しい鳥取県の体育の方向性を探っていく。その際、これまで鳥取県体育研究部が積み上げてきた確かな実績を土台にして、鳥取県特有の研究となるよう検討していきたい。また、新学習指導要領の動向を注視するとともに、具体的な改訂事項から見えてきた課題を視点のひとつとして、準備を進めていきたい。

引用・参考文献

- 1) 文部科学省(2016), 次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ, 239-251
- 2) 文部科学省(2017), 小学校学習指導要領
- 3) 文部科学省(2008), 小学校学習指導要領
- 4) 高橋健夫(1994), 体育の授業を創る, 大修館書店, 128-160
- 5) 岩田靖(2012), 体育の教材を創る, 大修館書店, 2-14
- 6) 小坂浩士・高田大輔・榎野陽介・和田博史・大倉茂人・近藤智靖(2014), 小学校体育授業における「わかる・できる・かかわる」の関連性に関する事例的研究, 日本体育大学スポーツ科学研究 vol. 3, 10-20
- 7) 文部科学省(2017), 小学校学習指導要領解説体育編